

県及び国の実施する職場定着支援施策について

1 障害者の職場定着支援施策が求められる背景

(1) 障害者雇用の状況

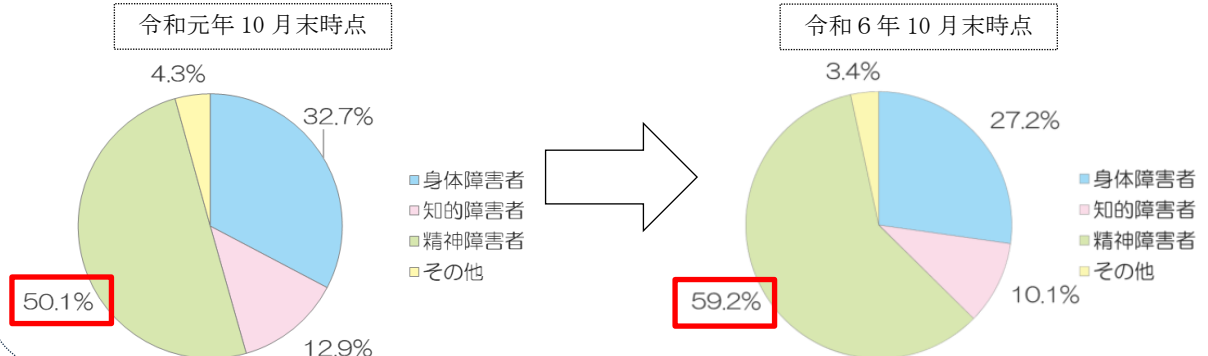
- 令和6年4月に民間企業の法定雇用率が2.3%から2.5%に引き上げられ、令和7年4月に除外率が10%引き下げられた。令和8年7月には法定雇用率がさらに2.7%へ引き上げられ、各企業において障害者の雇用を促進していく必要がある。
- 県内の障害者手帳所持者数は精神障害者の増加が顕著で、ハローワークに登録している求職者も精神障害者が直近4年で大きく増加しており、精神障害者の雇用拡大が見込まれる。

参考：愛知県内の障害者手帳所持者数

(県障害福祉課、医務課こころの健康推進室)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	対令和2年比
身体障害者	237,732	236,934	235,475	233,758	232,272	△5,460
知的障害者	57,903	59,590	61,668	63,880	66,021	8,118
精神障害者	74,727	79,333	85,677	92,366	100,769	26,042

参考：ハローワークにおける障害種別ごとの登録者割合（愛知労働局）



(2) 障害者の職場定着の状況

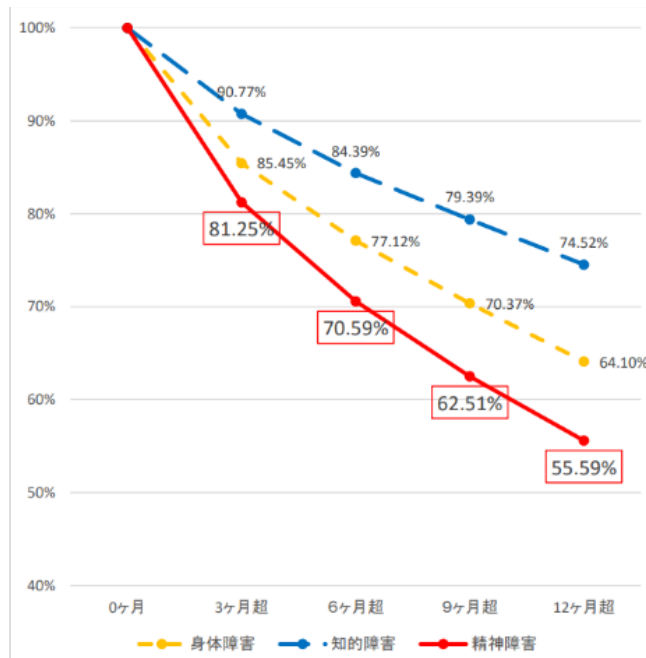
- 障害種別ごとの平均勤続年数を見ると、精神障害者の平均勤続年数が身体障害者や知的障害者と比較して低い状況にある。
- 企業の法定雇用率の達成にあたっては、新規雇用を進めるだけでなく、既に雇用している障害者の職場定着を図る取組も行っていく必要がある。

■障害種別ごとの平均勤続年数（厚生労働省：障害者雇用実態調査）

	身体障害者	知的障害者	精神障害者
平成25年	10年0ヶ月	7年9ヶ月	4年3ヶ月
平成30年	10年2ヶ月	7年5ヶ月	3年2ヶ月
令和5年	12年2ヶ月	9年1ヶ月	5年3ヶ月

■ 障害者の職場定着率（厚生労働省：今後の障害者雇用促進制度の在り方に関する研究会資料）

障害種別定着率
（令和5年4月1日～令和6年3月31日までのHW紹介就職者）



定着期間	3ヶ月超	6ヶ月超	9ヶ月超	12ヶ月超
身体	90.77%	84.39%	79.39%	74.52%
知的	85.45%	77.12%	70.37%	64.10%
精神	81.25%	70.59%	62.51%	55.59%

勤務月数と共に定着率は低下し、精神障害者の12ヶ月時点の定着率は6割を切る。

（3）障害者の離職理由

- ・「業務遂行上の課題」や「人間関係の悪化」等、障害への理解により、十分なサポート体制があれば防げた可能性もある離職が一定割合を占めている。

■ 1年未満で離職した障害者の離職理由＜精神障害者のみ＞

（障害者職業総合センター：障害者の就業状況等に関する調査研究（平成29年））

定着期間	企業が本人に確認した離職理由								不明 （離職理由確認 できず）
	障害・病気の ため	労働条件が あわない	業務遂行上の 課題あり	人間関係の 悪化	職場以外の 要因	労働意欲に 課題あり	将来への不安	その他の理由	
3か月未満	16.0%	15.7%	20.1%	9.6%	4.1%	2.5%	2.5%	13.5%	28.4%
3か月以上 1年未満	23.3%	8.0%	10.4%	10.8%	2.0%	4.0%	3.6%	22.1%	31.7%

2 県及び国の実施する職場定着支援施策について

(1) 企業からの相談への対応

あいち障害者雇用総合サポートデスク（県・愛知労働局）

企業への障害者の受入れや職場定着に関する相談など、障害者雇用に取り組む企業の課題に応じた雇用から定着までの一連の支援を行う。

〈近年の実績〉

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数 (職場定着関連)	190 件	226 件	295 件

(2) 企業内援助者の養成

a 精神・発達障害者しごとサポーター養成講座（愛知労働局）

精神・発達障害についての基礎知識や一緒に働くために必要な配慮などを短時間で学ぶことができる講座を開催する。

〈近年の実績〉

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開催回数	100 回	151 回	110 回
延べ参加人数	1,789 名	2,575 名	1,989 名

b 企業内援助者養成研修（県）

しごとサポーター養成講座と同様に、企業内の支援者を養成するための研修。しごとサポーター養成講座と比較すると、ロールプレイを含むやや実践的な内容となっている。

〈近年の実績〉（令和6年度から開始）

	令和6年度	令和7年度
開催回数	2 回	2 回
延べ参加人数	38 名	29 名 ^{※1}

※1：令和7年度の実績は1回開催分の人数

(3) ジョブコーチ（職場適応援助者）

障害者の職場適応を図ることを目的に、障害者の職場適応に課題がある場合に、職場に出向き、障害特性を踏まえた専門的な支援を行う。

a 配置型ジョブコーチ（愛知障害者職業センター）

愛知障害者職業センターに配置するジョブコーチ

〈近年の実績〉

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
支援開始者数	105 名	115 名	109 名

b あいちジョブコーチ（県）

県が独自に派遣するジョブコーチ

〈近年の実績〉

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
派遣回数	190 回	182 回	105 回
支援開始企業数	48 社	40 社	32 社

（４）障害者就業・生活支援センターによる支援（県・愛知労働局）

雇用・保健・福祉・教育等の関係機関との連携の拠点となって、併設施設での基礎訓練の実施や事業主等による職業準備訓練のあっせんなどの就業支援等を実施する社会福祉法人等（県が指定）。職場訪問等の定着支援も実施している。

〈近年の実績〉（県内12ヶ所の合計値）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
職場訪問による定着支援実施件数	4,365 件	4,337 件	4,714 件

〈参考〉職場定着支援施策一覧

県の施策

その他施策

支援対象	支援内容	施策
企業	相談対応	(1) あいち障害者雇用総合サポートデスク
	研修	(2)a 精神・発達障害者しごとサポーター養成講座 (愛知労働局) (2)b 企業内援助者養成研修
企業と障害者本人	就業面の支援	(3) ジョブコーチ支援 (3)a 配置型ジョブコーチ（愛知障害者職業センター） (3)b あいちジョブコーチの派遣
	生活面の支援	(4) 障害者就業・生活支援センターによる支援 (就業面は国(愛知労働局)、生活面は県(障害福祉課)が委託して実施)